

4 par ci, par là



病気だった猫のクォーツを庭に放す。ドアを開けたら一目散に走り出し、写真では残念、頭が切れてしまいました。

〈シャダール〉の代表ヴァレリーさん(左)とメンバーのシャルルさん(右)。



アソシエーション「シャダール〈レアールの猫〉という意味の造語)なのだ。

「今日はクォーツを解放する日」と語るのは、代表のヴァレリーさん。クォーツとは10カ月になる黒猫の名前。ひどい風邪のため手当を受けていたが、体力が回復したので庭園に戻してやるのだ。パリ市は「シャダール」に物置小屋を貸してくれたり、緑地スペースの一面に猫小屋を設置する許可もくれたとか。

しかし、ノラ猫を世話しすぎるのも問題があるのでは？ 日本でも餌をばらまく鳩オバさん)が、鳩を増やしていたりすると思うが。「いいえ。私たちは不幸な猫を増やさないように努力しているのです」。どういふことか。まず、個別に猫を識別し、病気になれば世話をし、不妊・去勢手術をきっちり施すのだ。「猫のカ



「お腹すいてないかな?」。パリ市は専用の猫小屋の設置を許可。たくしく生きていけるよう、猫たちはなるべく人に慣れないよう育てられているので、なかなか出てこない。

ップルが1組いれば、10年後には8千万匹まで増えるという計算もあります。数が増えると、猫たちは過酷な生活を強いられます」。世界的な食料危機が叫ばれるなか、人口が増え続ける人間どもも、明日は我が身とは言えなくもないが。とにかく、まずは今いる猫たちの「生きる権利」を尊重しながら、数を増やさないよう努力することが大切というわけだ。

さて活動はまだまだ困難が多い。猫をお世話するための人手もお金も足りない。猫を虐待したり、バカンス前には捨ててしまう人も多い。加えてレアールの整備計画も頭にのしかかる。「一帯が芝生化されるの。猫たちの休まる場所がなくなってしまう」。工事は来年の予定。辛いニャ〜。(瑞)

Association Chadhal : <http://chadhal.free.fr/>

オヴニー社会科 45

—ノラ猫の世話をする協会—

大都会で生きるのは辛いニャ〜。

かつては卸売り市場が広がる「パリの胃袋」。現在は広大なショッピングセンターが自慢の大都会のおヘソ、レアール地区。買い物に夢中になっていると気がつかないが、中心部の緑地帯には、かなりのノラ猫が息息する。彼らの中には、通行人から虐待を受けたり、厳しい生活環境で病気になるものも多い。そんな不幸な猫たちを救うために、昨年7月に設立されたのが、

D écor

楽しいインテリア ②

丁寧な答えてくれる。私は手ごろなミニ観葉

F lash

●折り紙ヒコーキ競技大会

6月1日(日) 13hからブローニュ・ピアンクールでヒコーキ大会。折り方講習から自由飛行や距離・滞空競技、滞空決勝戦まで。200名が無料参加できメールで予約要。origideaparis@gmail.com
Salle Polyvalente :140 rue Castéjà, Place Haute, Boulogne-Billancourt
www1.atword.jp/pavionaparis

●パリ上空を飛ぶ気球〈Air de Paris〉

15区アンドレ・シトロエン公園から直径20mの気球が飛ぶ。今年からは大気観測も兼ね緑色の時は汚染度が低く、赤い時は汚染度が高い。40キロの距離から見えるこの気球には一般が乗れ、空からパリを眺められる。搭乗時間は10分位。毎日9h30~18h30。10€(12-17歳9€)/週末12€(10€)。悪天候の日は決行かどうか問い合わせを。01.4426.2000

●サンパピエ連帯スペクタクル

6月18日 14h-18h30、不法滞在家族支援のフェット。ラテン、アフリカンミュージックやマリオネットなどのスペクタクル。家族で楽しみたい。無料。
Maison des Métallos : 94 rue Jean-Pierre-Timbaud 11e M° Couronnes

●合同展・見本市・古もの市

〈第60回 Salon de Mai〉
5/19-25 (12h-20h): Espace Communes
17 rue Communes 3e

〈Vivez Nature オーガニック製品見本市〉
5/22-26 : ラ・ヴィレット科学工業都市

〈Vides greniers フリーマーケット〉
5/19-20 Rue Mouffetard 5e